

今後のステージの運用について (案)

【令和2年11月26日】

	医療提供体制等の負荷			監視体制	感染状況		
	病床全体	うち重症者 用病床	療養者数	検査 陽性率	新規 感染者数	先週1週間 との比較	感染経路 不明割合
全道 11/25	843床	22床	増加 2,300人	増加 8.7%	1,653 人/週	増加	32.8%
うち 札幌市	429床	13床	1,431人	10.1%	1,085 人/週	増加	38.7%
ステージ4 基準	350床	35床	796人	10%	796 人/週	増加	50%

**集中対策期間を12月11日までとし、
札幌市を対象に「ステージ4相当の強い措置」を講じる**

【判断の根拠】

別添のとおり

【基本的考え方】

札幌市内における感染拡大の状況を踏まえつつ、本道の人口の3分の1を占め、都市機能が集積し、人の移動の中核となるなど、社会経済活動の中心的地域という特殊性に鑑み、札幌市内はもとより、北海道全域へのこれ以上の感染拡大を徹底して抑制するため、全道の警戒ステージは3を維持した中で、札幌市に限定してステージ4相当の特措法に基づく強い措置を講じる

札幌市における11月以降の感染状況について

11月以降、新規感染者数は、1週目(11月1日～)、2週目(11月8日～)は倍増で拡大し、その後、直近の1週間では、1.2倍と増加ペースが緩やかになっている。

また、「すすきの地区」においては、ステージ2に移行した10月28日と比較して、人出が約40%下落し、営業時間短縮の要請を行った施設における感染者数も11月6日までの64人(1週間合計)と比較して、11月20日までの1週間では、36人と減少している。

保健所の体制を大幅に強化したことなどにより、検査数は、21日までの1週間で、1,466件と11月初めに比べ倍増するとともに、リンクなしの感染者数の割合は、21日で43%(週平均)と低下傾向、陽性率も依然として10%台であるが、低下しつつある。

一方で、継続して1日に100名以上、11月19日には197名の新規感染者が確認されているほか、直近の年代別割合では、30歳代以下が44%と半数を切る一方、60歳代以上が31%に増加するなど、高齢者の割合が大幅に増加している。

また、集団感染は、10月(21件)と比べて、11月は大きく増加(11月1日～25日の間で48件)し、依然として飲食店等(11件)は多いものの、病院、福祉施設(21件)、事業所(9件)、学校(7件)などに広がっている。

特に医療機関においては、患者数の増加による病床のひっ迫に加えて、集団感染の影響による医療従事者の不足等も相まって、交通事故や急病など、緊急時の医療提供ができなくなる恐れも生じている。

以上のことから、急激な拡大の抑制の兆しも見えるも、未だに相当数の感染者が確認され、依然として、すすきのを中心とした飲食店での感染が一定数発生していること、高齢者の感染が増加していること、また医療施設・福祉施設での集団感染が増加し、医療提供体制のひっ迫度合いがさらに増していることなどを踏まえて、札幌市内においては幅広い行動自粛の継続に加え、国の分科会の提言で感染リスクが高いと指摘されている飲食の場面や重症化リスクの高い方々に焦点を当てた措置を講じる必要がある。

札幌市以外の11月以降の状況について

11月以降、新規感染者数は、1週目(11月1日～)、2週目(11月8日～)は倍増で拡大したが、その後、直近の1週間では、1.1倍と増加ペースが緩やかになっている。

検査数は、11月15日から21日までの1週間で1,232件と、11月初めに比べ2.3倍となっており、また、リンクなしの感染者数の割合は、21日には、24%(週平均)となるなど、11月初めに比べ10ポイント以上の低下が見られる。また、陽性率は、6%台で推移している。

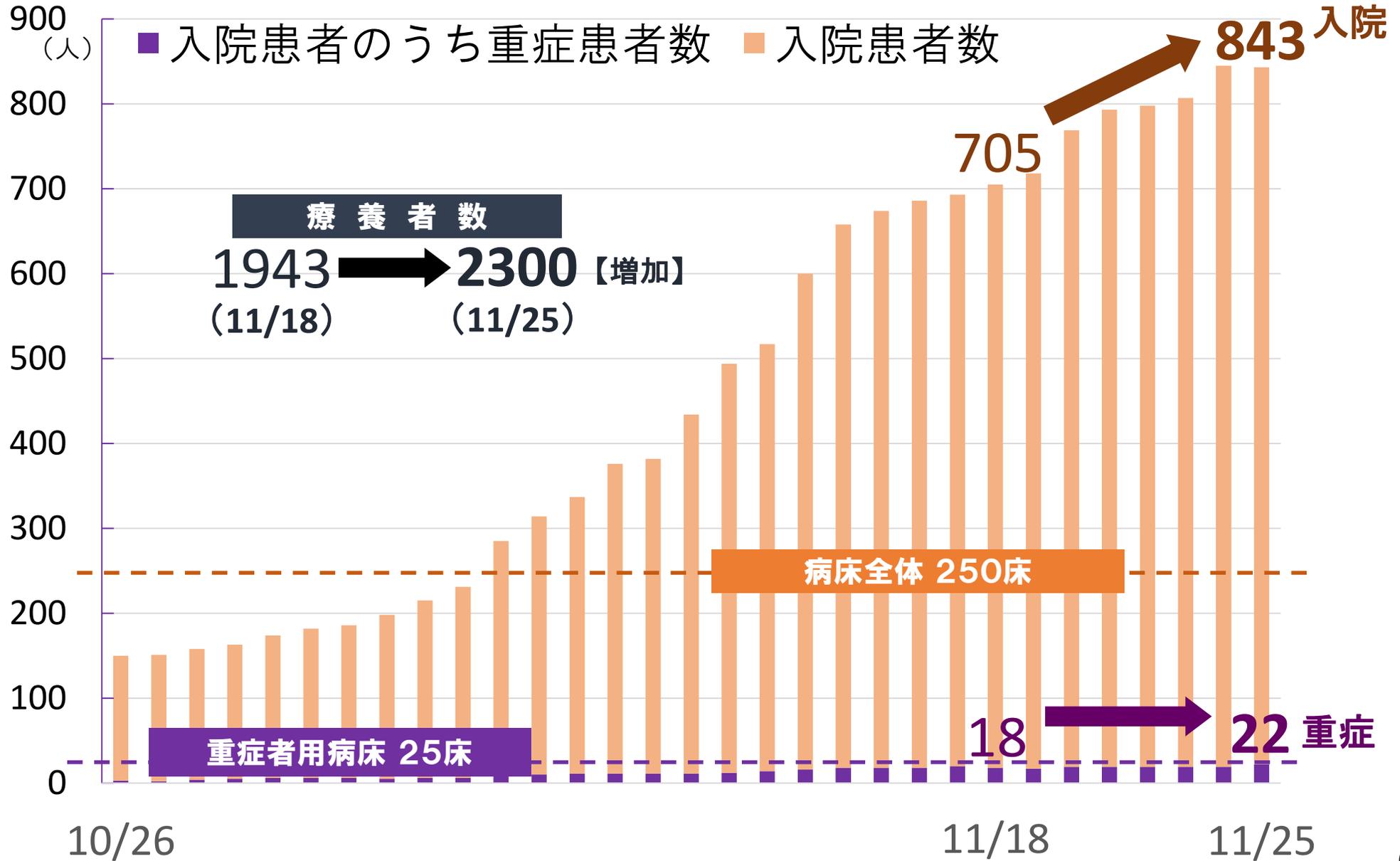
一方で、医療施設・福祉施設をはじめとした大規模な集団感染などにより、1日に50名から100名の新規感染者の確認が続いている。

特に医療機関での集団感染の発生は、患者数の増加と相まって病床のひっ迫度合いを増加させており、こうした地域では、医療従事者の感染などによる人員の不足等から、感染症への対応はもとより、交通事故や急病など、緊急時の医療提供ができなくなる恐れも生じている。

年代別割合では、11月25日までの1週間で、30歳代以下が38%、40～50歳代が32%、60歳代以上が30%となっており、幅広い世代で感染が見られるなか、引き続き、高齢者が高い割合を占めている。

以上のことから、感染者数、リンクなしの割合、陽性率などは札幌市と比べ低くなっているが、依然として多くの感染者が発生していること、また、医療施設等での集団感染などにより医療提供体制のひっ迫度合いが増している地域があることなどから、これまでの要請を継続することに加えて、重症化リスクの高い方々に焦点を当てた行動変容を要請していく必要がある。

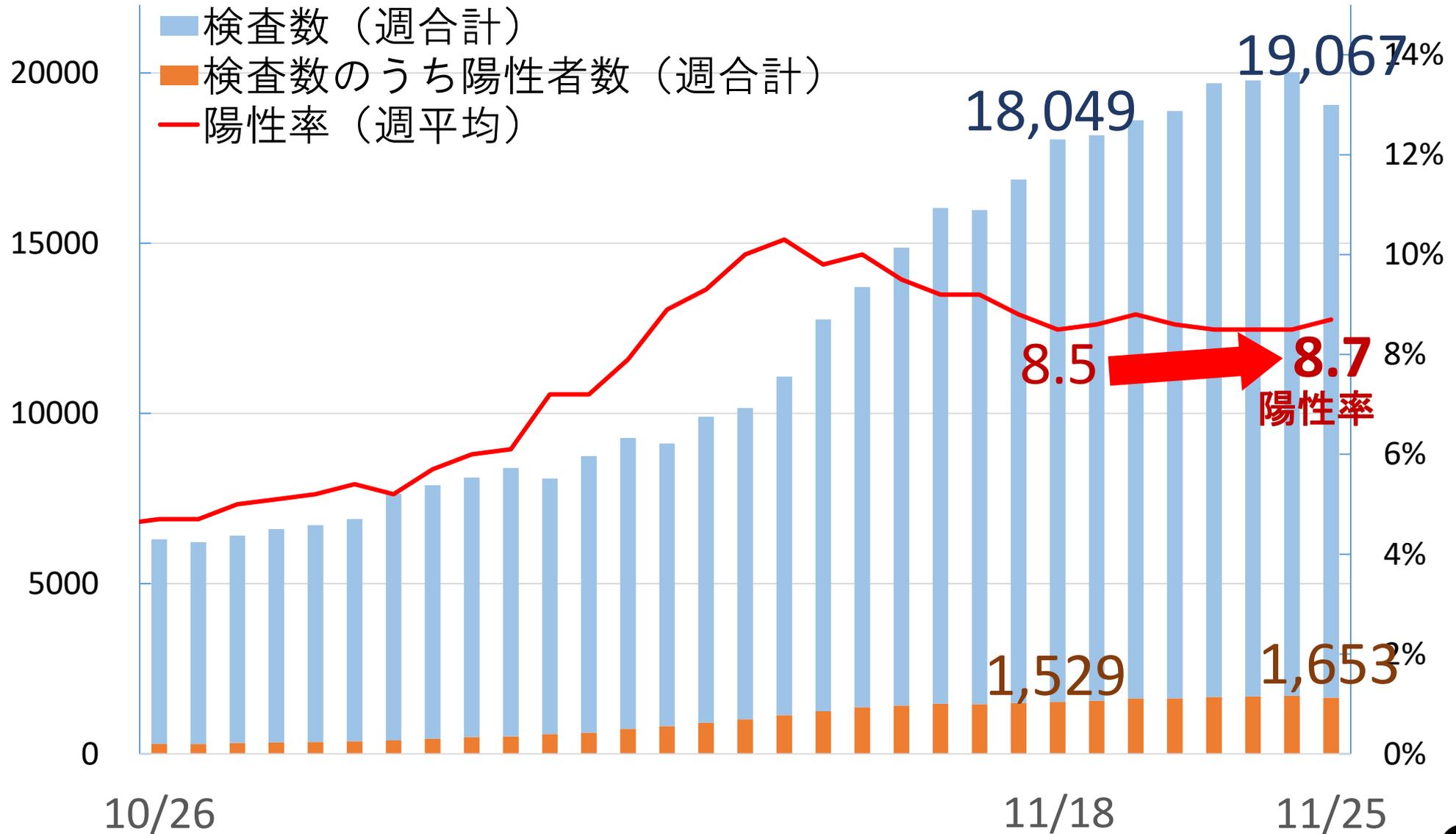
医療提供体制等の負荷(指標①)



監視体制(指標②)

検査数 (人)

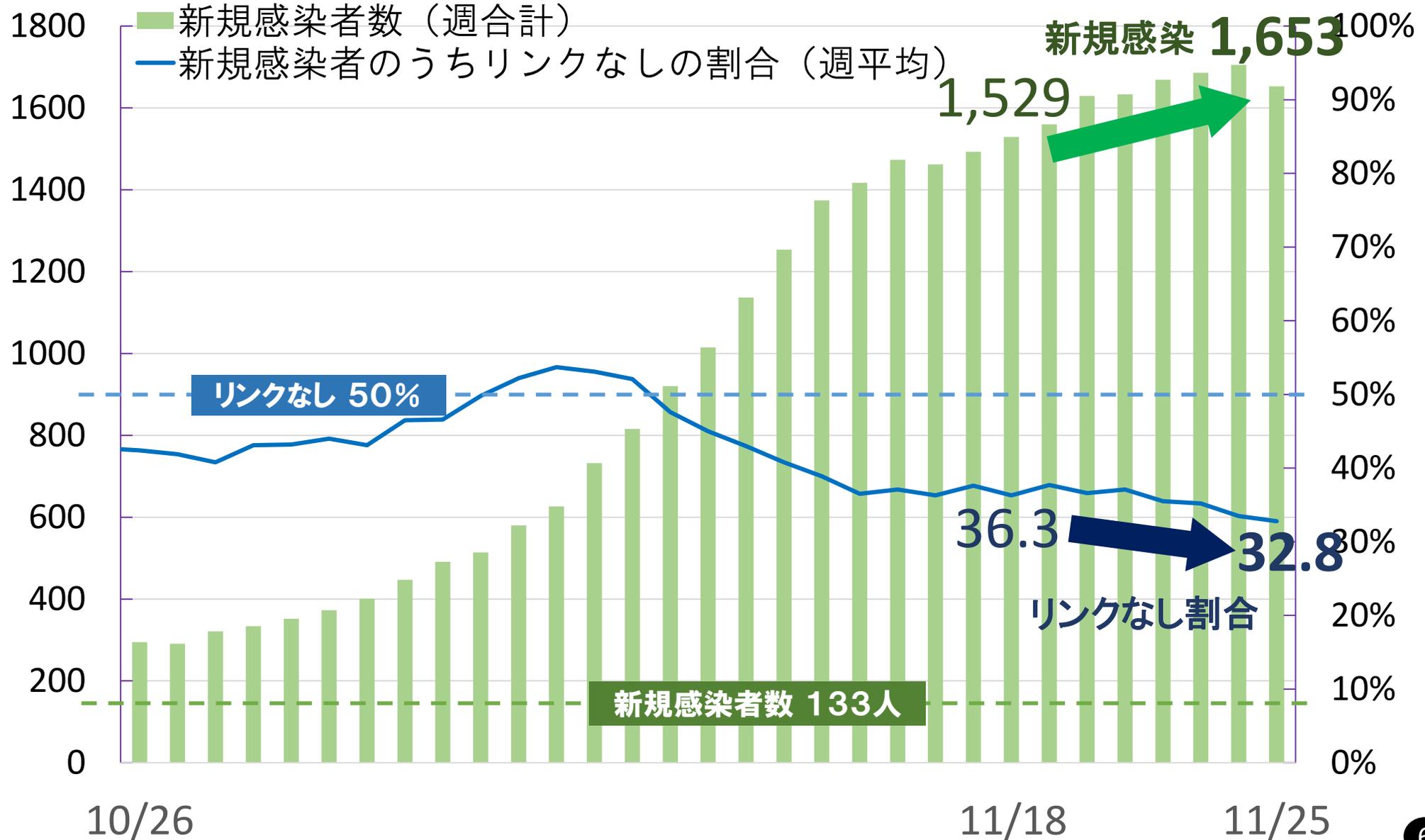
陽性率



感染状況(指標③)

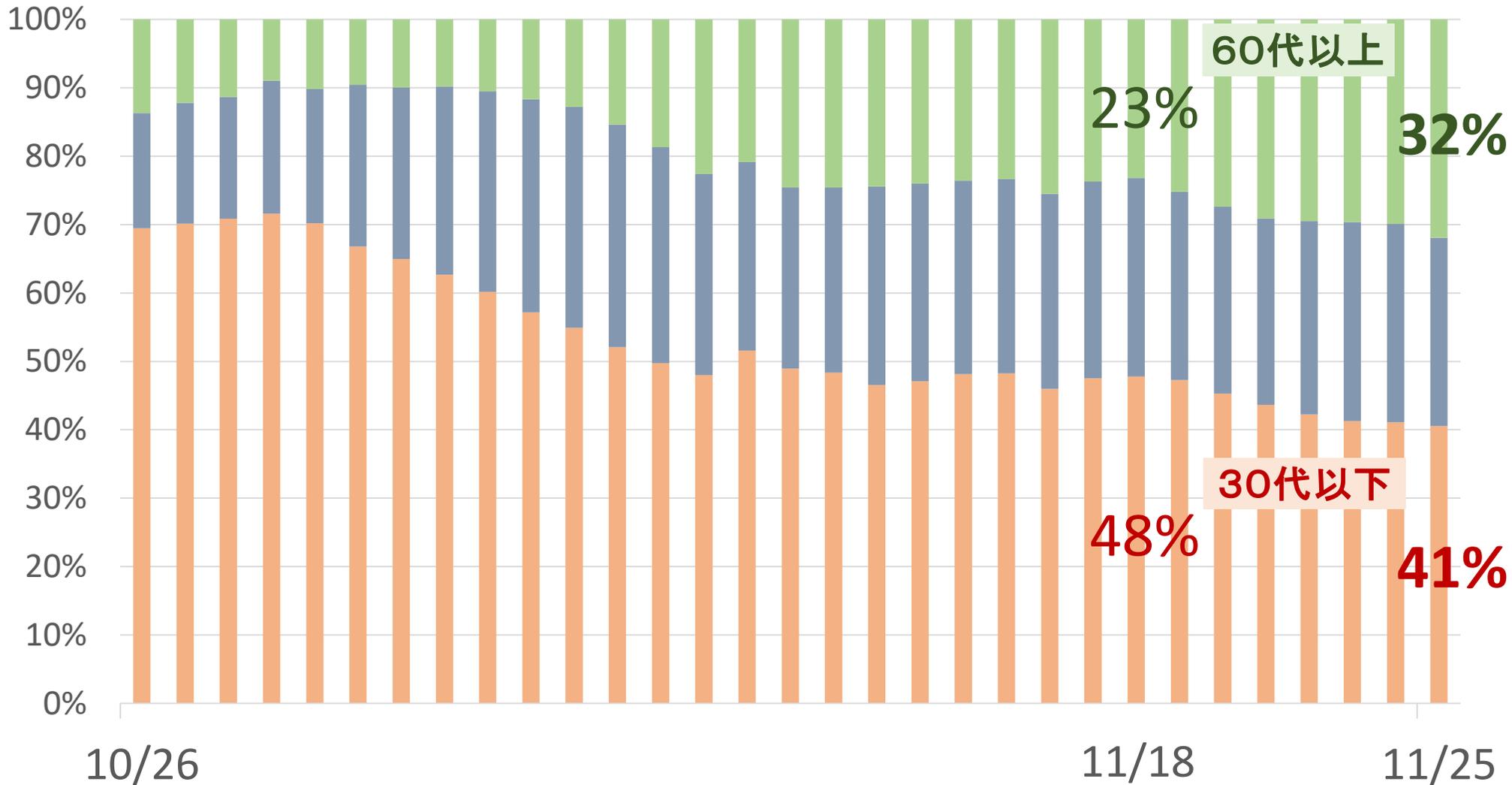
新規感染数(人)

リンクなしの割合



新規感染者の年代別割合(全道)

30代以下 40代・50代 60代以上



(新規感染者のうち年齢公表分を7日間平均で集計)